

誤嚥性肺炎の治療を受けられる患者様

主治医 _____

受け持ち看護師 _____

ご説明日 _____

おおよその入院生活の流れです。ご不明な点や、お困りになることがありましたら、遠慮なくスタッフにお申し付けください。

日	当日 (/)	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目
	・病態を確認して初期治療を行います。		・治療の効果を確認して、肺炎再発予防策を立てます。			・治療の効果を確認して、肺炎再発予防を行います。 ・退院時期の検討を行います。						
 検査	●尿検査 ●血液検査 ●胸部レントゲン検査 ●喀痰検査を行います		●尿検査 ●血液検査 ●胸部レントゲン検査を行います			●血液検査 ●胸部レントゲン検査を行います			●血液検査 ●胸部レントゲン検査を行います			
治療	●点滴を行います ●吸入を行います											
 安静度	●特に安静の制限はありません。 発熱などの状況を見て判断します * 全身状態によっては活動制限がある場合があります					●リハビリを行いながら積極的に離床をすすめます						
清潔	●お身体を拭きます(入浴はできません) 					●発熱がなく経過がよければ、入浴ができます						
リハビリ	理学療法、作業療法	●体調に応じて運動機能や認知機能の維持/改善のためのリハビリを行います ●安全な生活動作の検討を行います										
	言語聴覚療法	●体調に応じて呼吸発声機能や飲み込みの機能の維持/改善のためのリハビリを行います										
 お食事	●適切な口腔ケアの方法の検討を行います	●お食事の前に飲み込みの評価をします	●必要に応じて嚥下内視鏡(喉頭ファイバースコープ)や嚥下造影検査(レントゲン)で飲み込みの検査を行います						●お食事で気をつける点や口腔ケアについて説明します			
	●食事を中止して、様子をみます	●経過がよければ、リハビリの評価のもと、誤嚥のリスクの少ない食事から始まります ●適宜評価を行い、段階的にもとの食事に近い内容に変更します						●栄養士より、栄養指導を行います				
 文書	●入院治療計画書をお渡しいたします								リハビリ総合実施計画書の説明を行います			

病状により、実際の入院経過が異なる場合がありますが、その場合はその都度ご説明いたします。